

8月を振り返って

介護職員 相澤 まゆみ

バルムなかにいだ「さわぎくらの里」のリーダーをしております相澤まゆみと申します。リーダーとしてまだまだ未熟で日々勉強の毎日ですが、ホームに来ると利用者様と楽しく過ごし、利用者様の笑顔で元気付けられております。

さて、8月の行事ですが、花火大会と夏まつりを行ないました。花火大会では打ち上げ花火もして、皆様ビックリしながらも「わあーきれい…！すごい…！という声が聞かれ、職員も一緒になって楽しみました。夏まつりは、職員一丸となり、昔なつかしいイメージで行ないました。ご近所の方(子供たち)やご家族の方も参加してくださり、大イベントとなり、出店のかき氷・やきそば・フランク・いなり・冷やしタマゴなどを皆様喜んでくださり、一杯召し上がっておられました。その他スイカ割りも行ない、子供たちも必死にスイカを姿をご覧になり、声を出した応援しておられました。最後にはゆっくりスイカを召し上げていただきました。

今後利用者様方に喜び楽しんでいただけますように、職員皆で頑張り、もっともっと良いホームにして利用者様達に「ここに居て良かった。ここは私の家」と皆が家族と思っただけのように…。これからもバルムなかにいだで頑張っていきます。

夏の思い出

介護職員 佐々木 正志

バルムなかにいだ2ユニット目の「みずばしょうの里」も、オープンしてから早1年が過ぎ、長いようで短いようでした。当初は帰宅願望の訴えや徘徊も見られ、田んぼ道を後から追いかけていたり、目が離せない状態でしたが、今では皆様、互いに会話されたり落ち着いて過ごしていただいております。利用者様個々とかかわり方により、利用者様から話しかけてくる事も多くなり、双方向のコミュニケーションも増えてきたように思います。また、今年は例年になく猛暑日、夏日が続く中ご家族様や近隣の方々のご協力を賜り、夏まつりを開催いたしました。利用者様もゲームやカラオケなどを楽しまれながら、交流を深めておられました。なな中新聞中学校のカヌー一部の皆様のボランティアにより、畑の草刈りや風船バレー、スイカ割り等で利用者様と共に過ごしていただいております。暑い中大変ご苦労様でした。利用者様もバレー時は、あまりにも真剣になられ、椅子から立ち上がることもあり、危険な場面も見られましたが、笑顔で楽しく過ごされておられました。いい思い出になられたのではないのでしょうか。

これからも利用者様の身体的・心理的な面において残存機能をいかに促し、自立支援に向けてサポートしていきたいと思っております。地域の方々、ご家族様には引き続きお引き立ての上、ご愛顧くださいますようよろしくお願い申し上げます。

《8月の行事》

8月8日 花火大会

さわぎくらの里、みずばしょうの里合同で、利用者様と職員とが一緒に、打ち上げ花火など数種の花火を観賞しました。



8月10日 中新田中学校カヌー一部交流会

草取りボランティアをしてくださるカヌー一部の皆様と、アトラクションを楽しみました。



8月17日 バルム夏まつり

近隣地域のお客様をお迎えし、中央ステージや屋台村、昭和の懐かしい写真展など、お楽しみ満載で、「夏まつり」を催しました。

